

認知症ケアの流れ（経過と対応）

経過には個人差がありますので、必ずしもこのとおりではありませんが、大まかなめやすとしてください。

	元気な時期～認知症予備軍	発 症 期	症状多発期	身体症状複合期	終 末 期
生 活	自立して生活できる。	手助けがあれば生活できる。	生活支援に加え介護も必要になる。	介護が多くの場面で必要になる。	ほぼ全面的な介護が必要になる。
本人の様子	<ul style="list-style-type: none">・物の忘れの自覚がある。・言葉が出にくく「あれ」「それ」と言う。・何かヒントがあれば思い出せる。	<ul style="list-style-type: none">・同じことを何回も聞く。・置き場所を探し回る。・約束したことを忘れる。・物を盗られたと言う。・話をとり繕う。・不安、いらいら、あせり、抑うつ・自信喪失・買い物の小銭が払えない。	<ul style="list-style-type: none">・料理がうまくできない。・季節に応じた服が選べない。・今まで使っていた電化製品、機器が使えない。・自分の年齢を若く言う。・外出先から家へ戻れない。・食べ物をあただけ食べる。	<ul style="list-style-type: none">・箸など道具を使えない、一人で食事ができない。・飲食物をうまく飲み込めない。・食べ物以外のものを口に入れようとする。・一人で着替えができない。・言葉が理解しにくい。・尿意や便意を感じにくい。・うまく歩けない。	<ul style="list-style-type: none">・日中うつらうつらしていることが多い。・言葉が減り、声かけへの反応が少なくなる。・うまく飲み込めない、口から食事がとりにくくなる。
記 憶		直近のことを覚えられない。	いつ、どこで、何をしたか忘れる。	子供のころ、若いころの記憶の世界で生きる。	
場所・日時・人物		時間や日にちが分からなくなる。	季節年次が分からなくなる。	近所で道に迷う。親しい人が認識できなくなる。	自宅のトイレが分からない。
対応のポイント	<div>家事などを続け、手先や頭を使う。 閉じこもりにならないように、趣味をもつなど日常生活を活発に過ごす。</div>	<div>大事な事や出来事は書きとめる。</div> <div>ゆっくり、短い言葉で、一つずつ伝える。</div> <div>時間の見当がつく工夫をする。（季節感のあるカレンダー、デジタル時計、おはようございます・こんにちなどは挨拶）</div> <div>できることもたくさん残っている。趣味や仕事で養ってきた得意分野を生かすと昔の記憶がよみがえり、心の安定につながる。</div> <div>道に迷わないよう外出の際は目印を決める。</div>	<div>説得より、その場の納得（理論での説得は無理） 一緒に行動するなど気持ちを受け止めると、そのうち忘れて気持ちが変わることもある。</div> <div>自然の風や光に適度にあたる。思い出の風景を散歩するだけでも昔がよみがえり、安心につながる。</div> <div>昔の思い出にふれたり、なじみの歌を楽しむことによりその時の気持ちがよみがえり不安が軽減する。</div>	<div>身体管理を十分に行う。自分で訴えることが難しいので、水分や食事、排泄など状況を観察する。落ち着かない様子が身体状況からきていることもある。</div> <div>言葉以外のサインを大切に。表情やしぐさなどから気持ちを読み取る。 背中をさするなどで安心感を与える。</div>	
ご家族や身近な方へ	<ul style="list-style-type: none">・本人の役割を作りましょう。 例：家事、孫の世話、ペットの世話など・本人への声かけをしましょう。・会う機会を増やしましょう。	<ul style="list-style-type: none">・認知症という病気や、介護について勉強しましょう。・近い親戚や本人の親しい人には病気のことを伝えておきましょう。	<ul style="list-style-type: none">・介護サービスを利用したり、家族の集いの場を利用しましょう。戸惑うような出来事が多い時には、専門家に相談したり同じ悩みをもつ家族の会など仲間と話し、負担を軽減しましょう。・今後の見通しを立て、介護や金銭管理などについて考えておきましょう。	<ul style="list-style-type: none">・本人の視点に立って、延命処置や医療をどの程度行うかなど、家族で相談しておきましょう。	
医 療	かかりつけ医 専門医のいる診療所 認知症疾患医療センター				
相 談	地域包括支援センター あんあん				
	在宅介護支援センター 居宅介護支援事業所 小規模多機能型居宅介護 家族の会				
支援体制	認知症予防運動教室		デイサービス・デイケア・ショートステイ		
	民生委員友愛訪問 地域のサロンなど	訪問介護		訪問看護	
	認知症サポーター養成講座	認知症カフェ・認知症の人の支援拠点づくり・初期集中支援チーム			
	サービス付高齢者住宅	ケアハウス 有料老人ホーム	グループホーム	有料老人ホーム	特別養護老人ホーム
	福祉サービス利用援助事業			成年後見制度	